

【ねがいましては】

平成11年9月1日

第117号

「自立」

KYOWA SCHOOL

毎年、この9月の「ねがいましては」は、キャンプのことになってしまいます。

総勢21名でくりひろげられた、4泊5日の生活は、私にとって初めてのことがありました。小学1年生（男子）が2名参加したことです。規定では3年生までという決まりにしていますが、きょうだいで参加の場合は認めるという事でそのようになりました。当然、私の中には「不安」は隠せません。一番の不安は「けが」です。説明会の折にも、しっかりと「けがしたら、全員ですぐ帰りましょう」と、脅かしのことばを投げかけスタートしました。結果、異常なし。

今回のキャンプでは、中学生ゼロという、おもしろい構成でもありました。男子の部屋は、ひとり高校2年生が「相談役」的な存在でいましたが、女子の部屋は6年生（1名）が筆頭になりきりっていました。驚いたこと・・部屋がきれいなのです。少なくとも私の居座る「倉庫」兼、寝場所よりはとてもきれいなのです。ほうきやちりとりなども、毎日借りにくるし・・

遊びの点では、私の期待を裏切ることなく、自分でみつけて遊んでいました。ゴルフのパートとボールで、キャンプ場を一周していました、ゴム風船で結構盛り上っていました、それはまあ様々です。

食事も毎回、作品をわざわざ私のところへ届けていただけましたし、買物では、こんなに節約しなくともいいのに、と思うくらい買ってくれないし、（貧乏なキャンプを深く理解いただいているなど、感心しきり）キャンプ場のオーナーのところへ遊びに行っては、愛想をふりまいていたようです。（けっこうオーナーからおみやげを戴いて、やるねー君たち！）

そして、子供達だけの生活の中に必ず起こる「トラブル」、これをどう解決させるかも、子供達だけの「政治」を、あえて邪魔せずにそっと見守ることにしています。「トラブル」の一番の根本は「欲」です。どうしても「得」する方を選ぶのは自然な心の行動なのですが、そこで「人」と「人」がうまく付き合える方法は、「やさしさ・おもいやり」と相成るわけです。

私が、このキャンプの中で、子供達に最も習得していただきたいのが、この「やさしさ・おもいやり」です。「自分が・自分が・自分だけは」だと、必ず生活しにくくなります。そこで、人間関係の学習が始まるわけですが。「そうか、いつも自分の家だと、何でもかなうのに、みんなと生活するには、こんな心のもち方が必要なんだ。」と学習すればよいわけです。それにはキャンプ生活の中での失敗が必要です。人間関係構築の大切な勉強です。

スタッフのみなさんも、そんな心の問題に、とても神経を注いでくれ、ありがとうございました。大4・高3・高2・高1のスタッフのみなさん、そしてコニカの船山さん、毎年の鈴木君、ありがとうございました。特に女子のスタッフの方々、良く働いていただきました。男の子の部屋で、何やらいざこざがあったときも、お話を聞きにいってくれたり、積極的に「人」を心配するようになったことは、何よりの成長です。教え子として、とても誇りに思います。

今でも脳裏に浮かぶのは、小学1年生が、自分の食器片手に洗い場へ急ぐ姿です。自分のことを自分できちっとこなす姿に、私は胸を打たれました。ありがとね！

9月の予定

10日（金）珠算・暗算検定試験申し込みしめきり

18日（土）全国統一模擬テスト（10月号）申し込みしめきり 小4～中3

22～25日・・珠算・暗算検定試験・・KYOWA SCHOOL

27～10月初旬・・全国統一模擬テスト（10月号）実施

新学期です。新入生受付中！パソコンやゲームで楽しく伸びましょう！